

FREED *Spike*

**PRESS INFORMATION
2010.7.8**

本田技研工業株式会社 広報部

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

四輪・汎用 商品広報 TEL (03) 5412-1514/FAX (03) 5412-1515

企業広報 TEL (03) 5412-1512/FAX (03) 5412-1545

URL <http://www.honda.co.jp/>



HONDA

いつもと違う自分。いつもと違う時間。 “可能性搭載コンパクト” FREED Spike。

いつでも気軽に郊外へ出かけ、趣味や遊びを楽しむ。

そんなライトでアクティブなライフスタイルを持つ人たちが、もっとワクワクするクルマをつくりたい。

遊びの世界がさらに広がるクルマをつくりたい。Hondaはそう考えました。

Hondaは2008年、独自の低床・低重心パッケージを核に、運転しやすく使いやすいコンパクトなボディにミニバンの広さと実用性を備えたFREEDを発売し、多くの方から高い評価をいただいています。

FREED Spikeは、FREEDのパッケージング技術をフルに活かし、

MOBILIO Spikeの荷室の考え方を受け継ぎながら、これまで以上に使えて遊べるクルマを追求。

コンパクトボディでありながら人にも荷物にも大きなゆとりを確保したうえで、

出かけた先でも荷室を活用でき、しかも楽しく過ごせることにまでこだわったクルマづくりに取り組みました。

目指したのは、気軽に出かけられて趣味や遊びの基点となる、“走るベースキャンプ”の創造。

楽しめる

遊びの準備や寝ることできる、フレキシブルでフラットな「反転フロアボード」とことん使いこなせる、大容量のカーゴルームや多彩なシートアレンジ
思いのままに楽しめる、収納やテーブルを設けた「リアサイドユーティリティ」

表現できる

タフで機能的な個性を主張し、使う人が遊び心と自分らしさを表現できるデザイン

毎日使える

コンパクトボディにゆとりの空間を確保し、運転のしやすさも備えた使いやすさ
力強く低燃費。しかもスムーズで安定感のある、爽快な走り

いつもと違う自分。いつもと違う時間。

“可能性搭載コンパクト”FREED Spike。いまよりもっとワクワクするライフスタイルに出会えることでしょう。

Hondaはこれからも、より多くの人への価値創造を目指し、コンパクトカーの可能性をさらに広げていきます。



可能性搭載コンパクト
FREED **Spike**
登場

毎日の暮らしに
コンパクト&実用性



趣味や遊びに
機能性&積載性

遊びを広げる、カーゴルームの機能にこだわりました。

楽しめる

自在なアレンジで、使えて過ごせる、新発想「反転フロアボード」。 P3

広く、大きく、出し入れしやすい、多彩に使いこなせるカーゴルーム。 P4

思いのままに楽しめる、工夫を施した「リアサイドユーティリティ」。 P5

表現できる

使う楽しさと自分らしさを表現できる、タフで機能的なデザイン。 P6



扱いやすく、快適で安心なコンパクトカーを実現しました。

毎日使える

扱いやすいコンパクトボディに、広い空間と優れた乗降性を実現。 P7

心地よい移動をもたらす、くつろぎの居住空間。 P8

安心・快適で視認性にも優れた、運転のしやすさ。 P9

力強く低燃費。しかもスムーズで安定感のある、爽快な走り。 P10

高水準の安全性能・環境性能。 P11

自在なアレンジで、使えて過ごせる、新発想「反転フロアボード」。

荷物を積んで目的地まで運ぶ。それがカーゴルームの役割です。しかし、フリードスパイクの場合は、それだけではありません。荷室としての機能性はもちろん、目的地に着いてからの機能性にもこだわりました。フロアの隅まで有効に使えながら、さらに荷物の大きさや量に応じてフロアの高さを変えられること。しかも、遊びの途中でひと休みしたり寝そべったりできる、まるで「部屋の床」のような広くてフラットなフロアが出現すること。そんな発想から生まれたのが、「反転フロアボード」です。フリードスパイクを拠点に、遊びの世界が大きく広がります。



荷物の大きさや量に応じて、左右で反転させて高さを変えられるフロアボード。

前後に180度回転させることでカーゴルームのフロア高を変えられる、反転フロアボード。左右で分割されているので、荷物の大きさや量によって使い分けすることができます。反転操作はグリップに手をかけ、ボードの片側を持ち上げるだけでスムーズに行えます。

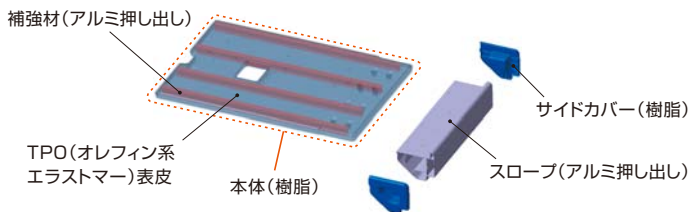


グリップ付で持ち上げラクラク。



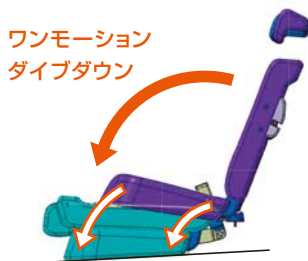
樹脂材とアルミ材で、軽さと高強度を両立。

反転フロアボードには樹脂材を使用したうえで補強材を施しました。また、アルミ押し出し材による三角形のスロープを設置することで、軽量でありながらフロアを高い状態にした時でも高強度を発揮。重量は左側4.7kg・右側2.7kgの軽量を実現しています。 数値はHonda測定値



リアシートをダイブダウンさせることで、寝て過ごすこともできる広くてフラットなフロアを実現。

カーゴルームをさらに大きく使えるように、リアシートには6:4分割可倒式を採用し、前方へワンモーションで倒せるダイブダウン機構を持たせました。そのうえでシート背面を薄くフラットな形状にし、倒した時の平坦面が反転フロアボードの高床状態やスロープ上端と同じ高さになるよう工夫を施しています。また、シートクッションには体圧を分散させるバネ構造を採用するなど、形状を薄くしながらも快適な座り心地が得られるシートとしています。



■リアシートダイブダウン状態



反転フロアボードとリアシートの左右アレンジで、多彩な空間を実現。

左右で高さを分割できる反転フロアボードと、左右6:4で分割可倒できるリアシート。このふたつの分割ラインを一直線に設定しました。これにより、フロアボードの左右と高さ、リアシートの左右、さらには助手席シートの可倒を合わせることで、多彩なアレンジが可能です。

【主なアレンジ】

- フルフラットモード:反転フロアボードを左右とも高床状態にし、リアシートを左右ともダイブダウン。段差や凹凸がなく、人が寝て過ごせるスペースとしても活用できます。
- フルスロープモード:反転フロアボードを左右とも低床状態にし、リアシートを左右ともダイブダウン。大きさの違う荷物などを、なだらかな段差を利用して積載できます。
- 片側スロープモード:片側の反転フロアボードを低床状態にし、同じ側のリアシートをダイブダウン。自転車などを積み込む際に活用できます。左側なら2台積載可能です。



フルフラットモード



片側スロープモード



フルトルモード



フルスロープモード



ロング+フルフラットモード

広く、大きく、出し入れしやすい、多彩に使いこなせるカーゴルーム。

ライフスタイルに応えるだけでなく、
 使う人の趣味や遊びの世界を広げたい。
 そのためにフリード スパイクは、大容量の空間を確保。
 そのうえで荷物の出し入れがしやすく、
 スペースを有効に使えるよう、
 サイズや形状に徹底してこだわりました。
 さまざまな荷物、さまざまな用途に対応し、
 空間の可能性が大きく広がる使いやすさを実現しています。



遊び方に応じて、たっぷり積める、大きく使える、 可変容量のカーゴルーム。

Honda独自の低床・低重心パッケージにより、低くフラットなフロアを実現。さらにリアシートのダイブダウン機構によっていっそう大容量の空間を生み出すとともに、反転フロアボードの活用により、容量をさまざまに変えられるカーゴルームを実現しています。

■荷室容量

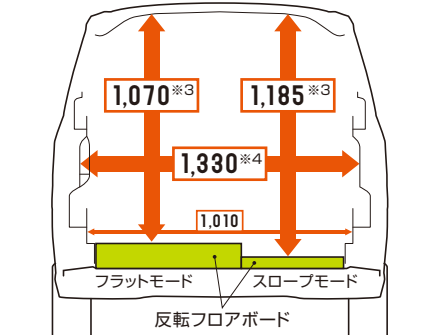
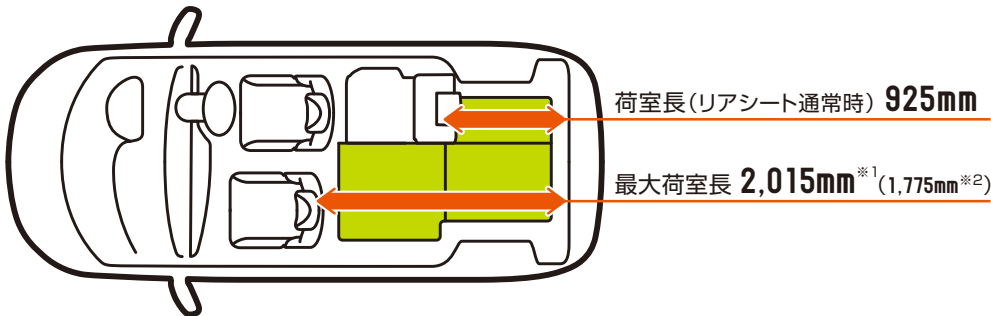
リアシート両側ダイブダウン時	1,184 [※]
リアシート通常時	610 [※]

※反転フロアボード:左右とも低床状態
 フロントシート:スライド最後端
 数値はVDA方式によるHonda測定値

■荷室寸法

荷室長	リアシート通常時	925mm
	リアシートダイブダウン時	2,015mm ^{※1} (1,775mm ^{※2})
最大荷室高	左右とも高床(フラットモード)時	1,070mm ^{※3}
	左右とも低床(スロープモード)時	1,185mm ^{※3}
荷室幅	ビルトインテーブル非装備車	1,330mm
	ビルトインテーブル装備車	1,220mm
荷室床面幅	ホイールハウス間	1,010mm

※1 助手席:スライド最前端 ※2 助手席:スライド最後端 ※3 スカイルーフ非装着車 数値はHonda測定値



※1 助手席:スライド最前端 ※2 助手席:スライド最後端 ※3 スカイルーフ非装着車 ※4 ビルトインテーブル装備車は1,220 単位:mm 数値はHonda測定値

■マウンテンバイク2台をそのまま積めるなど、 さまざまな荷物に対応。

リアシートをダイブダウンすることで、フロントシートを最後端までスライドさせても1,775mmの長さを実現。高さにも余裕があるため、スロープモードでマウンテンバイクを2台立てたまま積載することが可能です。また、助手席を最前端までスライドさせることで2,015mmまで拡大。フルフラットモードでサーフボード(約1,830mm)を積むことや、エアベッド(約1,800mm)を敷くこともできるなど、さまざまな活用を可能にしています。 数値はHonda測定値

■積載イメージ

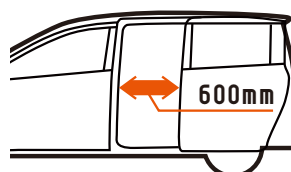


■サイズや形状により積載できないものもあります。

後ろからも横からも、大きな荷物も 出し入れしやすい大開口。

テールゲートの開口部は、高さ1,080mm、幅は最大で1,160mmを確保し、開口地上高を515mm(スロープモード時)に設定。大きな荷物や重い荷物でも積み降ろしがラクに行えます。また、スライドドアの開口部は、600mmの幅を確保。横からの出し入れもスムーズに行えます。

数値はHonda測定値



開口部高さ

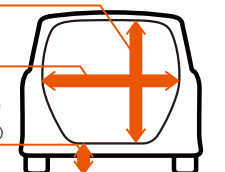
1,080mm

最大開口部幅

1,160mm

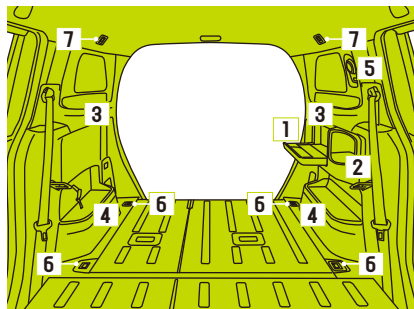
開口地上高

515mm (FF車)



思いのままに楽しめる、工夫を施した「リアサイドユーティリティ」。

目的地に着いて荷物を解いたら準備に取りかかる。
もうすでに、遊びの世界は始まっています。
フリード スパイクがカーゴルームに求めたのは、
「趣味の部屋」感覚で楽しめる空間。そこで、手を伸ばせば
届く位置に、準備や休息のときに役立つテーブルやトレイ
などを配置した「リアサイドユーティリティ」を設けました。
また、フロアやルーフには荷物の固定に便利なフックを
装備するなど、しっかり運べて遊びの拠点にもなる、
まさにベースキャンプと呼べる空間に仕立てています。



1 遊びの準備に活用できるビルトインテーブル(タイプ別設定)

カーゴルーム左側面に、小物を置いたり手元の作業をするときに便利なビルトインテーブルを設置。遊びの準備の際に道具や小物を置く場合に重宝します。

2 休息時に便利なドリンクホルダー(タイプ別設定)

ビルトインテーブルの横に設置。休息時などに活用できます。

3 小物の収納に利用できるリアサイドポケット

左右両側に、小物類の収納に便利なポケットを設置しました。高い位置にあるので、大きな荷物を積載した状態でも物を出し入れることが可能です。

4 タイヤハウスに設けたサイドライニングトレイ

左右のタイヤハウス上部を利用した、小物が置けるトレイです。右側には、三角停止板を設置できるストラップが付いています。

5 夜間に役立つカーゴスポットライト(タイプ別設定)

左側の上部に設置。カーゴルーム後部の室内灯よりも輝度が高く、角度調節機構も付いています。また、消し忘れた場合には、イグニッションキーを抜いた後、約30分で自動消灯します。

6 荷物の固定に便利なタイダウンフック

ベルトなどで荷物をしっかりと固定する際に便利なフックを、カーゴフロアの4カ所に設置しています。

7 カーゴルーム上部に設けたユーティリティフック

ルーフに近い側面上部の左右2カ所にフックを設置しました。タイダウンフックと合わせて荷物の固定などに利用できます。



ビルトインテーブル(タイプ別設定)



ドリンクホルダー(タイプ別設定)



リアサイドポケット(左右)



サイドライニングトレイ(左右)



カーゴスポットライト(角度調節機構付)(タイプ別設定)



タイダウンフック(4カ所)

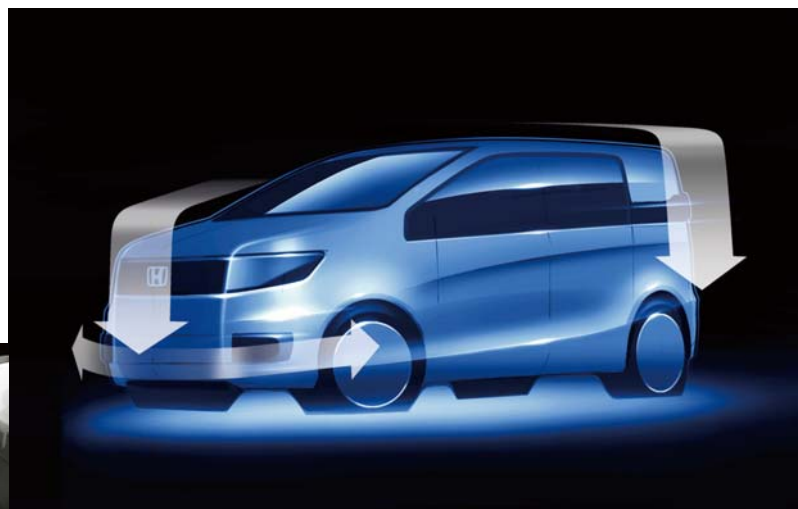


ユーティリティフック(左右)

■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。■テーブル・トレイ等は、荷物のサイズ・形状により使用できない場合があります。安全のため、走行の際は使用しないでください。■小物類は撮影のために用意したものです。

使う楽しさと自分らしさを表現できる、タフで機能的なデザイン。

趣味や遊びのフィールドへ出かけるクルマであるなら、フリード スパイクも遊び道具のひとつといえます。そこで、クルマとしての機能的なデザインを基調としながらスタイリングにはアクティブでタフな個性を、空間には使う人の遊び心を満たす上質なイメージを追求。ライフスタイルを演出するアイテムのように、所有する楽しさや自分らしさが表現できます。



使える道具としてのタフな個性を主張する、エクステリアデザイン。

アクティブに使える機能性をダイナミックに表現したエクステリア。カーゴルームの広さや大きさを感じさせるボディ同色のリアクォーターパネル、ブラックアウトされたピラーガーニッシュやリアコンビネーションランプなど、タフで機能的な個性を主張。さらに、ガンメタリックのフロントグリルやヘッドライトが精悍な表情を映し、ロアバンパーによってワイドスタンスを強調しています。



Photo:G-ジャストセレクション(FF)
ボディカラーはプレミアムブラクッシュパール



Photo:G-ジャストセレクション(FF)
ボディカラーはアラバスターシルバーメタリック

■よりスタイリッシュに個性を主張する(エアロ)

フリード スパイクのタフさを、さらにストリートで映えるように、よりスタイリッシュな装飾を施したエアロ。都市をアクティブに駆け抜けるイメージを持たせています。

[エアロ専用装備]

- エアロフォルム・バンパー(フロント/リア)
- クロームメッキフロントグリル
- クロームメッキリアライセンスガーニッシュ
- カラードサイドシルガーニッシュ
- カラードテールゲートスポイラー
- ガンメタリック塗装リアクォーターピラーガーニッシュ
- ハーフシェイドフロントウインドウ
- 15インチアルミホイール



Photo:Gエアロ(FF)
ボディカラーはプレミアムホワイトパール



Photo:Giエアロ
ボディカラーはクールターコイズメタリック

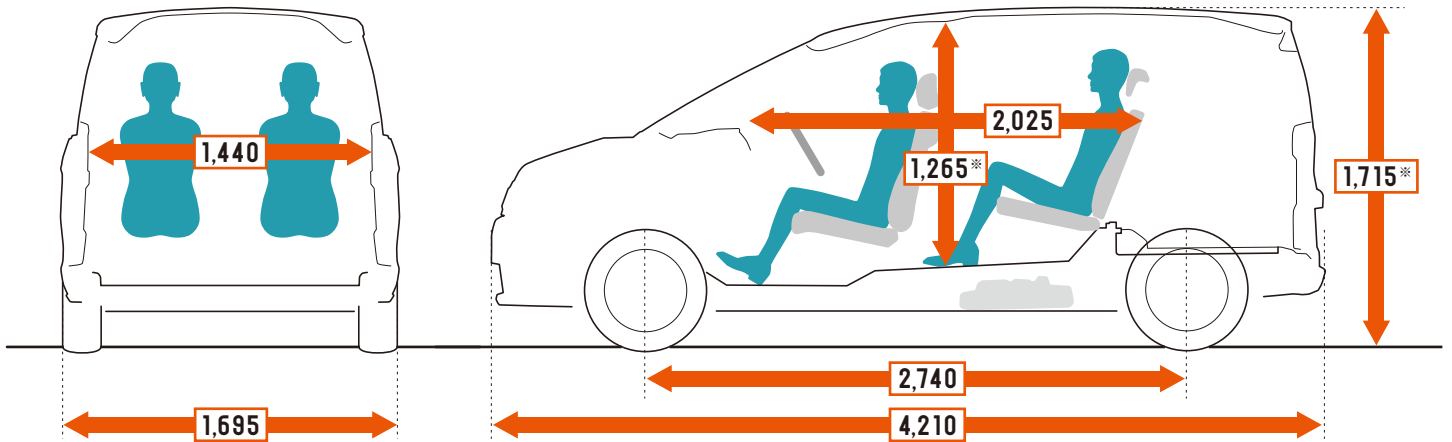
機能的で質感の高い空間を印象づける、インテリアデザイン。

アクティブでタフな使える道具をイメージさせるブラック内装を基調としました。そのうえで、ワイドに伸びるインテリアパネルをチタン調に加飾し、ドアライニングにソフトな感触の表皮を採用。ステアリングホイールのスポーク部に配したガーニッシュで運転席の質感を高めました。さらに、メーターのブルー照明や運転席用、助手席用のドリンクホルダーに設けたリング照明などにより、機能的で上質なインテリアに仕上げられています。



Photo:G-ジャストセレクション(FF) メーカーオプション装着車 メーター類は撮影のため点灯 画面はハメコミ合成

扱いやすいコンパクトボディに、広い空間と優れた乗降性を実現。



※スカイルーフ装着車を除くFF車 単位:mm

都市の狭い駐車場でも、野山の細い道でも扱いやすい、コンパクトなボディサイズ。

ゆとりの空間を持ちながらも、全長4,210mm、全幅1,695mm、全高1,715mm*のコンパクトなボディサイズを実現。狭い駐車場や路地でも扱いやすく、細い道でもスムーズに運転できます。

※スカイルーフ装着車を除くFF車



狭い曲がり角も操作しやすい、最小回転半径5.2mの取り回し性。

ゆとりの空間を生み出す2,740mmのロングホイールベースでありながら、エンジンなどのコンパクト化によってフロントノーズの短縮化やタイヤ切れ角の充分な確保が可能になり、最小回転半径5.2mを実現。フロントの左右コーナーを絞り込んだボディ形状や、低速時に軽い力でステアリング操作ができるEPS(電動パワーステアリング)と合わせ、優れた取り回し性を発揮します。



最小回転半径
5.2m

人はゆったり、荷物はたっぷり。Honda独自の低床・低重心パッケージ。

Honda独自の技術、低床・低重心パッケージによって、薄型燃料タンクを後席下に配置して床下構造を工夫するなど、低くてフラットなキャビンフロアを実現。室内高1,265mm*を確保し、前席と後席のスムーズな車内移動を可能にしています。また、コンパクトに設計されたパワートレインやサスペンションなどを採用することで、全長4,210mmのコンパクトボディでありながら、室内長2,025mmと室内幅1,440mmを実現し、大きなゆとりを確保しています。 ※スカイルーフ非装着車

子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできる、ワンステップフロア。

低床フロアの実現によって、後席の床面地上高を390mm(FF車)の低さに設定。これにより、ステップに段差を設けることなくワンステップでの乗降を可能にしました。しかも、手の届きやすい位置には大型のアシストグリップが設置されているので、小さな子供やお年寄りでも無理なく乗り降りできます。また、ワンステップフロアを実現したことで、後席左右の床面をドアサイドまでフラットにでき、足元のスペースをより広く確保しています。 数値はHonda測定値



狭い場所でも乗り降りしやすい、大きく開く両側スライドドア。

開口幅600mmを確保した、大きく開くスライドドア。壁際や狭い駐車場などでの乗り降りも容易に行えます。また、タイプによりパワースライドドアを装備。キーレスエントリーシステムや運転席のスイッチで開閉でき、荷物を抱えているときなどに重宝します。

数値はHonda測定値 ■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。

心地よい移動をもたらす、くつろぎの居住空間。



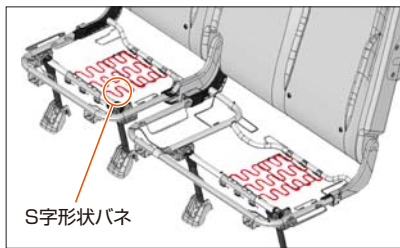
Photo:
G-ジャストセレクション(FF)
メーカーオプション装着車
カットボディによる撮影
画面はイメージ合成

見やすく、操作しやすく、左右移動しやすい、 運転席まわりのゾーニング配置。

運転席まわりの操作系を機能ごとに分類して配置しました。オーディオ／ナビゲーションは見やすいインパネアッパー部の中央に、エアコン操作パネルは運転席／助手席どちらからでも操作しやすいインパネロア部中央の乗員に近い面に設置しました。また、インパネシフトをインパネロアにすっきりと配置することで、凹凸感の少ないエアコン操作ボタンと合わせ、よりスムーズなサイドウォークスルーを可能にしています。

ダイブダウン機能とゆったりした座り心地を 両立したリアシート。

シートクッション幅1,320mmのゆったりしたサイズのリアシート。ダイブダウン時のフラットなフロアを実現するためにシート全体を薄く設計しながらも、シートバックにはホールド感を持たせ、シートクッションには適度なたわみによって体圧を分散させるS形状のパネを採用することで、快適な座り心地を実現しています。



S字形パネ

遊びの空間をもっと楽しくする、スカイルーフ& 電動サンシェイド(タイプ別設定)。

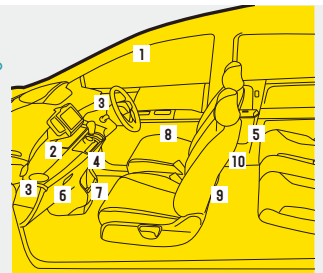
前後1,125mm×左右770mm(内寸)の大型ガラスを採用したスカイルーフ。プライバシーガラスと高熱線吸収/UVカット機能付ガラスを合わせたガラスを使用し、紫外線や強い日差しにも配慮。四季を通じて上空の景色を楽しめます。また、スイッチひとつで開閉する電動サンシェイドも備えています。数値はHonda測定値 ガラスは固定式



適所に設けた収納装備。

前後席それぞれに、便利な収納装備を用意。手の届きやすい位置にレイアウトするなど、使いやすさを追求しています。

■小物類は撮影のために用意したものです。



1 チケットホルダー
(運転席側サンバイザー)



2 センタートレイ(照明付)



3 ドリンクホルダー(運転席/助手席)
※タイプにより照明付を設定。



照明点灯時



4 センタードリンクホルダー
(タイプ別設定)



5 スライドドアドリンクホルダー
(左右)



6 グローブボックス(カードホルダー付)



7 センターロアボックス



8 大型ドアポケット(フロント左右)



9 シートバックポケット(助手席)
(タイプ別設定)



10 コンビニフック(助手席背面)
(タイプ別設定)

安心・快適で視認性にも優れた、運転のしやすさ。



Photo:
G-ジャストセレクション(FF)
メーカーオプション装着車
メーター類は撮影のため点灯
画面はハメコ合成

交差点の右左折時などで安心感が得られる、パノラマ視界。

フロントピラーの断面形状をドライバーから細く見えるように設計。さらに、サイドウィンドウ下端のラインを前方に向かって低く設定するとともに、大型の三角窓を採用しました。これにより、右左折時などでの死角を減らすことができ、運転しやすく安心感のあるパノラマ視界を表現しています。



視認性に優れ、しかも素早く確認できる、アウトホイールメーター。

運転時の視界を考慮し、走行視界からの視線移動角度が少なく、かつ走行視界との焦点差が少なくなるよう、メーターをステアリングホイール外側のフロントガラス寄りに配置しました。スピードメーターを確認しやすいアナログ表示で半円形に配し、アクティブで上質なイメージを演出するブルー照明を採用。また、メーターパネル中央にはインフォメーションディスプレイを配置しています。

[インフォメーションディスプレイ]

瞬間燃費を常時表示。切り替えによってオド(積算距離)、トリップ(区間距離)、平均燃費、推定航続可能距離を表示



■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。 ■小物類は撮影のために用意したものです。

最適なポジションに調整できる、テレスコピック & チルトステアリング。



後退時の運転をサポートする、後方視角支援ミラー(タイプ別設定)。

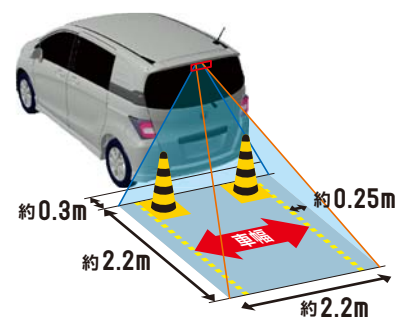
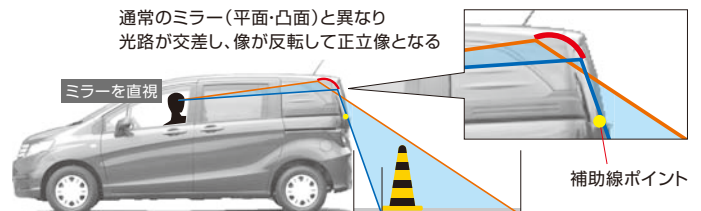
車室内のテールゲート上部に設置されたハイマウント・ストップランプの下側に、車両に近い後方を映すミラーを備えました。凹凸面鏡を採用することで車内からは死角となりがちなエリアを正立像として確認することができます。また、リアガラス下端に貼付された黄色い補助線がミラーに映ることで、およその車幅、自車と障害物との位置関係が把握しやすく、後退時の運転操作にいつもの安心感を与えています。

■後方視角支援ミラー視野範囲イメージ



補助線がミラーに映り、自車のおよその車幅および後端の目安となる

通常のミラー(平面・凸面)と異なり
光路が交差し、像が反転して正立像となる

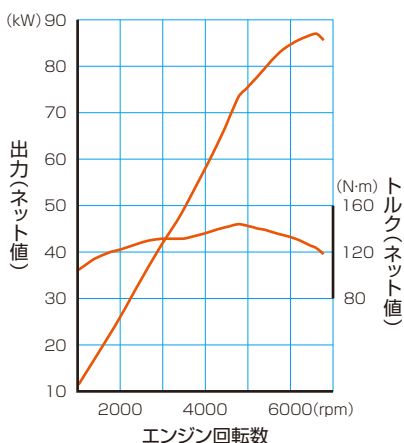


力強くて低燃費。しかもスムーズで安定感のある、爽快な走り。

機敏に走れて、しかも低燃費。1.5ℓ i-VTECエンジン。

Honda独自のVTEC(可変バルブタイミング・リフト機構)を核に、吸排気効率や冷却効率、各部の低フリクション性に優れ、なおかつ緻密なエンジン制御を行うことで、たくさんの荷物を載せていても力強くスムーズな走り、低燃費や優れた排出ガスクリーン性能を実現。さらに、コンパクト化によって、室内の広さにも貢献しています。

■1.5ℓ i-VTECエンジン性能曲線図



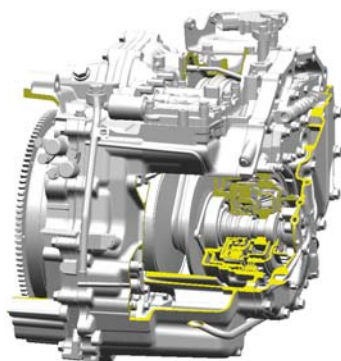
最高出力(ネット値)	87kW(118PS)/6,600rpm
最大トルク(ネット値)	144N·m(14.7kgf·m)/4,800rpm
10・15モード走行燃料消費率 (国土交通省審査値)	16.4km/ℓ(FF車) 「平成22年度燃費基準+25%達成車」
	14.0km/ℓ(4WD車) 「平成22年度燃費基準+5%達成車」
全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定	

「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

スムーズで力強い走り、トルクコンバーター付CVT。(FF車)

トルクコンバーターによる力強くスムーズな発進特性と、CVT(無段変速機)ならではの変速ショックのないなめらかな加速性能を合わせ持っています。ハイレシオ設定に加え、高効率・低フリクション性に優れたオイルポンプやベルト、プーリー、さらにはきめ細かなロックアップ制御などにより、低燃費にも貢献。また、DBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)との協調制御により、さまざまな走行シーンでスムーズかつ快適な走行フィールが得られます。

■トルクコンバーター付CVT構造図



4WDの走破性を引き出し、低燃費にも貢献する、5速AT。(4WD車)

力強い加速と低燃費を両立した5速オートマチックトランスミッション。リニアソレノイドによるダイレクト制御やDBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)との協調制御により、スムーズな発進性能と変速ショックの少ないなめらかな加速、さらには高速クルーズ時の優れた燃費が得られます。

確かな走破性と低燃費を両立した、リアルタイム4WDシステム。

通常はほぼFF状態で走行し、発進・加速時や雪道などの走行状況に応じて、後輪にも適切な駆動力を配分。軽量・コンパクトで室内のゆとりや低燃費に大きく貢献するデュアルポンプシステムを搭載しています。

リニアな出力特性が得られるDBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)を採用。

発進時などの低速回転域でスムーズに、中・高速回転域では力強い加速が得られるようにセッティング。トランスミッションとの協調制御と合わせ、アクセルワークに応じたリニアな出力特性を発揮します。

大開口を支える剛性と軽量化を両立した、高剛性ボディ。

曲げ剛性やねじり剛性といった静剛性に加え、フロントとリアの剛性バランスの適正化や各部の結合強度を高めたことにより、優れた動剛性も獲得。さらに、軽量で高強度なハイテン材(高張力鋼板)を適所に採用するなど、スライドドアやテールゲートの大開口を支える高い剛性と軽量化を同時に実現しています。

安定した走り、快適な乗り心地を生む、優れたシャシー性能。

フロントサスペンションにはマクファーソン・ストラット式を採用。直進性とともに旋回時の安心感を高めるセッティングとしたうえで、L型リアアームを採用し、コンプライアンスブッシュを最適に配置。これによりブッシュを低パネレート化することで、操縦安定性と乗り心地を高次元で両立しています。また、リアサスペンションには、コンパクトでスペースをとらないH型トーションビーム式を採用。大型コンプライアンスブッシュの採用などによって優れた乗り心地を獲得し、たくさんの荷物を積んだ場合でも安定感が得られるよう、ダンパーの減衰特性を設定。コーナリング時の安定性や直進性を高めています。

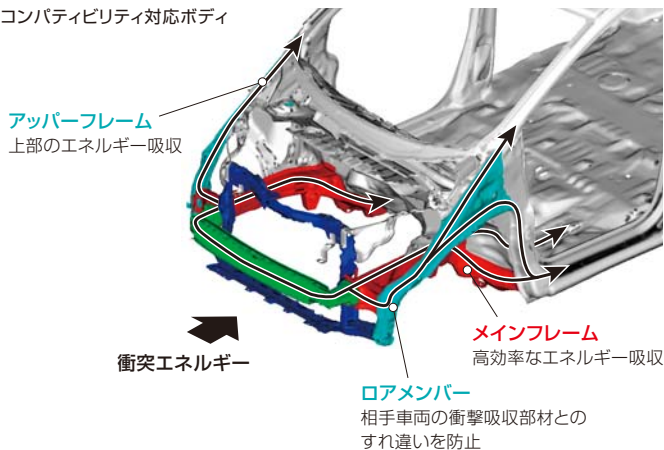
高水準の安全性能・環境性能。



コンパティビリティ対応構造を採用した、 高効率エネルギー吸収ボディ。

リアルワールドでの衝突安全を見据えたHonda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立したコンパティビリティ対応ボディ。前方向からの衝撃に対し、ロアメンバーが相手車両の衝撃吸収部材とのすれ違いを防ぐとともに、衝撃をより広い面で受け止めることで、極めて高効率な衝突エネルギー吸収を実現し、キャビンへの負荷を大幅に低減しています。こうしたコンパティビリティ対応構造に加え、センターピラーとルーフやサイドシルとの高強度結合や強固な環状構造などにより、側面衝突に対しても優れた衝撃吸収性を発揮。また、ハイテン材（高張力鋼板）をボディ骨格の適所に採用するなど、全方位からの衝突に対してエネルギー吸収効率の高い構造を実現しています。

■コンパティビリティ対応ボディ



頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

万一の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に、衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネットヒンジ部、フロントウインドウ支持部、ワイパー、ボンネット、バンパー、フェンダーを、衝撃吸収構造としています。

運転へのゆとりと、移動の安心をもたらす、 安全装備の数々。

[アクティブセーフティ]

- VSA(車両挙動安定化制御システム)(タイプ別設定)
- ディスチャージヘッドライト<HID>(ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付)(タイプ別設定)
- EBD付ABS

[パッシブセーフティ]

- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム
- 前席用i-サイドエアバッグシステム(助手席乗員姿勢検知機能付)+サイドカーテンエアバッグシステム(前席/後席対応)(タイプ別設定)
- 頸部衝撃緩和フロントシート
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト
- リア3点式ELRシートベルト(中央座席は2点式マニュアル)
- 汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ(リア左右席)+トップテザーアンカレッジ(リア左右席)
- 頭部衝撃保護インテリア

クリーン化やリサイクル化を追求した、 高水準の環境性能。

- 全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて、基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

- 「平成22年度燃費基準+25%」を達成(FF車)
「平成22年度燃費基準+5%」を達成(4WD車)



「平成22年度燃費基準+25%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を25%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。



「平成22年度燃費基準+5%達成車」表示マーク
平成22年度燃費基準を5%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。

- クルマ全体でリサイクル可能率90%以上*を実現
※(新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会))に基づき算出。
- リサイクル材の使用を推進
- 日本自動車工業会の定める環境負荷4物質自主削減目標を達成
鉛:2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減/水銀:2005年1月以降使用全廃
六価クロム:2008年1月以降使用全廃/カドミウム:2007年1月以降使用全廃

■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。